

授業科目名・形態	介護総合演習Ⅱ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志・柴田博・今野修	実務経験の有無	有	開講期	2年前期

【授業の主題】

介護実践に必要な知識と技術の統合を行なうとともに、介護観を形成し、専門職としての態度を養う学習とする。介護実習Ⅰの後に行われる演習であり、介護実習Ⅰの振り返りを行う。また、訪問介護や小規模多機能型居宅介護等サービスなど、居宅型サービスや介護の専門性の考察、介護支援技術の確認なども行う。また、次の介護実習Ⅱの実習計画についての事前指導も行う。

【到達目標】

1. 介護実習Ⅰを振り返り、介護の知識や技術を実践と結び付けて統合、深化させるとともに、自己の課題を明確にし、専門職としての態度を養う。
2. 利用者によくみられる疾患を理解する。
3. 実習に ICF をどのように導入するか考察できるようにする。

【授業計画・内容】

- 第1回 介護実習Ⅰの振り返り①
- 第2回 介護実習Ⅰの振り返り②
- 第3回 介護実習Ⅰの報告①
- 第4回 介護実習Ⅰの報告①
- 第5回 介護実習Ⅰの報告①
- 第6回 実習施設の理解①（特別養護老人ホーム）
- 第7回 実習施設の理解②（老人保健施設）
- 第8回 実習施設の理解③（障害児施設・障害者支援施設）
- 第9回 介護実習Ⅱに向けた演習（利用者に多い疾患）
- 第10回 介護実習Ⅱに向けた演習（コミュニケーション）
- 第11回 介護実習Ⅱに向けた演習（ケアカンファレンス）
- 第12回 介護実習Ⅱに向けた演習（認知症対応）
- 第13回 各実習施設担当教員による事前指導①（実習計画等）
- 第14回 各実習施設担当教員による事前指導②（実習計画等）
- 第15回 介護実習Ⅱに関する諸注意事項の確認と実習最終準備作業

【授業実施方法】

演習形式で行う。

【授業準備】

介護実習Ⅰで関わった利用者のアセスメント内容を整理しておくこと。

【主な関連する科目】 介護過程、介護の基本、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論

【教科書等】

最新・介護福祉士養成講座 10 介護総合演習・介護実習 第2版 中央法規出版

【参考文献】

必要時に資料を配付する。

【成績評価方法】

授業態度等 10%、授業内での発表 30%、レポート及び実習計画書、実習報告書等の提出物 60%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で介護職員として介護業務を経験してきた。介護現場での経験を活かし、利用者主体の個別的な介護が提供できるように指導していきたい。

【学生へのメッセージ】

介護実習Ⅰで関わった利用者のアセスメント内容整理において重要となる ICF の考え方を復習してください。